

2011/ 9 / 14開催・資産運用セミナー

日本の年金資産運用の歴史

～ 変革と危機の歴史に学ぶ知恵と将来への展望 ～

## アンケート結果

HCアセットマネジメント株式会社



HC  
*asset*  
management

# 「セミナーテーマに関するアンケート」結果報告

---

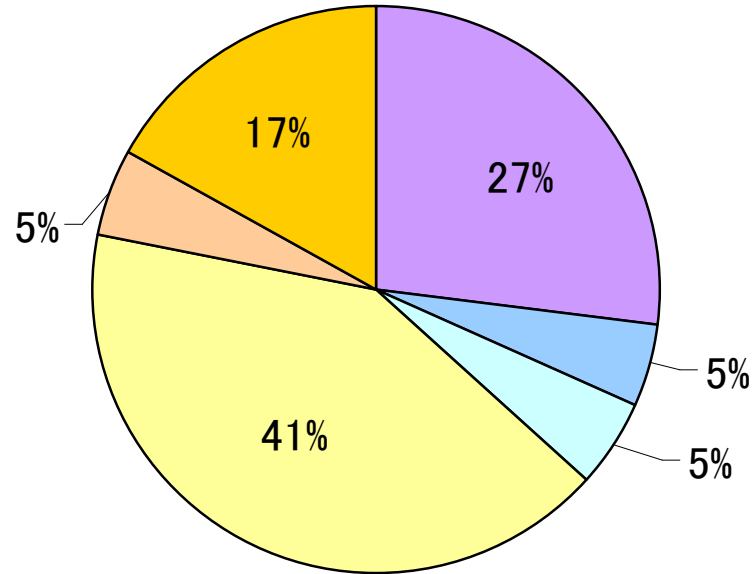
日本の企業年金の資産運用についてアンケートを実施。

- ・セミナー参加者人数 計68名
- ・アンケート回答者人数 計41名

**回答率 : 60%**

※小数点第一位以下切捨

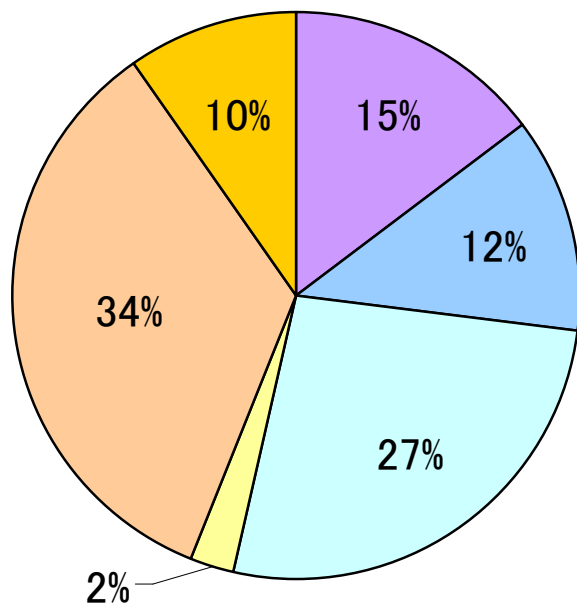
# アンケートにご協力頂いた方の業種別割合



|    | 人数 |
|----|----|
| ①  | 11 |
| ②  | 2  |
| ③  | 2  |
| ④  | 17 |
| ⑤  | 2  |
| ⑥  | 7  |
| 合計 | 41 |

- ①年金基金もしくは母体企業の資産運用管理者
- ②金融機関の自己資産運用担当者
- ③大学財団など、その他法人の資産運用担当者
- ④投資運用業者(信託銀行を含む)
- ⑤コンサルタント
- ⑥その他

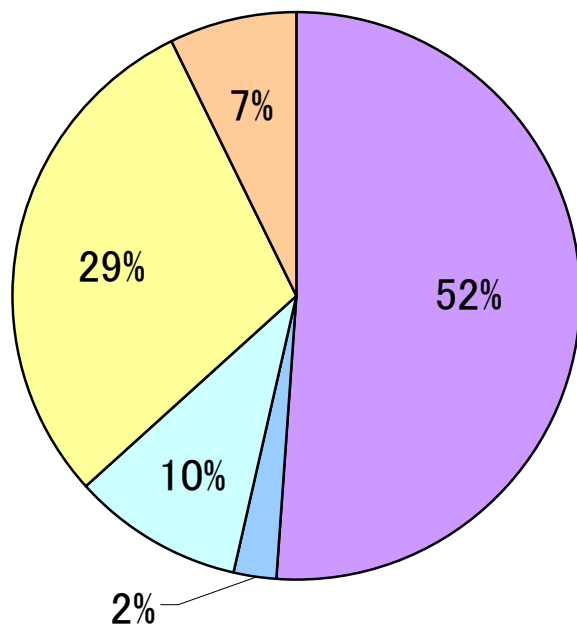
Q1 これまでの日本の企業年金の資産運用について、変革のきっかけになったものは、次のどれだとお考えでしょうか。  
一番大きな影響を与えたとお考えのものを、一つだけお選びください。



|    | 人数 |
|----|----|
| ①  | 6  |
| ②  | 5  |
| ③  | 11 |
| ④  | 1  |
| ⑤  | 14 |
| ⑥  | 4  |
| 合計 | 41 |

- ① 長銀、日債銀の一時国有化に代表される金融危機
- ② 退職給付会計の導入
- ③ 時価主義の導入
- ④ 代行返上
- ⑤ 超低金利の定着
- ⑥ その他

Q2 いま企業年金の資産運用のあり方を見直すとしたら、考慮すべき外的要因として、次のどれが重要だとお考えでしょうか。  
一番重要と思われるものを、一つだけお選びください。



|    | 人数 |
|----|----|
| ①  | 21 |
| ②  | 1  |
| ③  | 4  |
| ④  | 12 |
| ⑤  | 3  |
| 合計 | 41 |

- ① 積立不足、成熟度の高まりと給付額の増加など、制度に内在する課題
- ② 雇用や人件費など、人事政策についての母体企業の経営判断
- ③ IFRSや退職給付会計など、財務政策についての母体企業の経営判断
- ④ 投資環境の変化
- ⑤ その他